

龍の子新年

午



特別号

市政報告

発行 あらき竜二
倉敷市日吉町 476-4



岡山県議会
議長 遠藤 康洋



岡山県議会議員
佐古 一太

荒木竜二先生は、倉敷駅北を地盤とした地域活動に尽力され、平成21年の初当選以来、5期にわたり市議会議長を務められるなど、市政の課題解決に向け、全力投球の姿勢であります。

荒木先生は、人生と政治家の先輩として頼りになる方です。最初にお会いした時は、背は高いし、体はゴツいし、握手をすると餃子のように包まる手の大きさに、後ずさりしそうになつた感覚を覚えています。

多く、そのお声に甘えて「あらき竜二つてどんな人?パート2」を掲載させていただきました。

ご寄贈文を緊張しながら読ませていただき、皆さん温かく、激励の言葉に新人の頃を思い出しました。

皆様もご一読いただければ幸いです。

今年は私にとりまして勝負の年と考えています。

倉敷市議会議長となり、仕事の幅が大きく広がりました。

倉敷市議会議長となり、仕事の幅が大きく広がりました。

それらを市政にどのように活かしていくのか。そのためにしっかりと考えること、そして実践するために皆さんとのネットワークを築くことが必要だと考えています。

毎年、発行させていただいている「竜の子新聞」おかげさまで、19号を迎えます。

昨年、発行した「竜の子新聞」の企画「あらき竜二つてどんな人?」

ですが、思つた以上の反響をいただきました。ありがとうございます。

19号も是非、同じ企画でとのお声も

「災害や不景気に負けない市政」の強い思いから、特に平成30年7月豪雨災害の教訓を活かした防災減災対策の推進を軸に、地域の防災力強化に取り組んでおられます。また、会社経営者の顔もあり、こうした経験が市政のコスト意識や経済・産業振興の活性化推進にも繋がっていると考えます。

大変忙しくされる中でも、「自分の家族の幸福を、そのまま倉敷市民全体の幸福につなげるんだ」という地域貢献への信念も持ち合

て、幅広い世代にもっと関心を持っていただけのような開かれた議会運営への取り組みも推進したいと思います。

また、幅広い世代にもっと関心を持っていただけのような開かれた議会運営への取り組みも推進したいと思います。

このように、荒木竜二先生の倉敷市政にかける一所懸命な情熱、その実績は目を見張るものがあります。これからも、市民と共に歩みながら市政に邁進されることを

荒木先生は、人生と政治家の先輩として頼りになる方です。最初にお会いした時は、背は高いし、体はゴツいし、握手をすると餃子のように包まる手の大きさに、後ずさりしそうになつた感覚を覚えています。

荒木先生の「実践力」です。少林寺拳法を教える、狩猟をする、何故かハチも育てる!挙げればきりがありません!口だけでなく、自分の時間と体を使つて実践する姿勢を私もお手本に、今後も荒木先生がハチも育てる!挙げればきりがありません!口だけでなく、自分の時間と体を使つて実践する姿勢を私もお手本に、今後も荒木先生



酒津のホタルを

2007年荒木三一郎がまご義賀（こが）会長 武内立爾（たけうち たつしる）

議長職は、激務、健康に留意して議長に選任頂いてからは未知の役割下さい。ホタルとか地域とか抜きを担う中で、様々なことを果敢に吸にして僕個人にとつても荒木さん収し少し慎重にもなつた様子ですがと友人になれた事は人生の財産、これからも行動で示す姿を貫いてく感謝しかありません。されることを期待しています。

倉敷市議会議員選挙に立候補しようと、決心したきつかけはなんだつたのか。父は、平成21年に倉敷市議会議員に初当選しま

竜の子新聞

2026年（令和8年）1月吉日

県や国とのパイプも、もたらしてくれました。最初にも書きましたが、とにかく荒木さんの魅力はその人なりです。真備の大水害の時は最前線のサテライトで場所を確保し国から大型資材を調達する傍ら毎日便所掃除をする、張り詰めた現場で全国からやつてくるボランティアの手練れと対等に渡り合う。まあその度量というか器と言うか目を見張る思いでした。

議長職は、激務、健康に留意して下さい。ホタルとか地域とか抜きにして僕個人にとつても荒木さんと友人になれた事は人生の財産、感謝しかありません。



あらき竜二後援会
会長 秋岡 正之

あらき竜二さんと最初に一緒にやつた活動は小学生相撲大会に阿智神社の土俵で学区代表としての出場でした。体格の良かつた彼は5年生で大将を務めています。当時から物怖じせず大きな相手にも猪突猛進に向かつて行き、ケガをする事もありました。

高校までは同じ学び舎で、やんちゃな後輩として見ていましたので、親父の後継として市議への立候補を聞いた時には「大丈夫かあ？」と思いました。

彼は親父の仕事を見ていて「自分が地域の人々に喜んで貰える仕事をしたい」という思いを聞き、後援会会長を受けました。

議員に選んで頂いてからは、みんなに喜んで貰うために、地域や倉敷をもつと良くしたいと云う思いは、猪突猛進から様々な目標に向かつて果敢に挑む「勇往慢心」へと変わり、五期目の当選をさせ頂きました。

議長に選任頂いてからは未知の役割を担う中で、様々なことを果敢に吸収し少し慎重にもなつた様子ですがこれからも行動で示す姿を貫いてくれることを期待しています。

いつも父がお世話になつております。息子の宥人です。昨年、掲載させていただいた企画を今年も取り上げていただくことになりました。良いチャンスだと思い、取材に挑戦させていただきました。つたない文章ではありますが、最後までお付き合いください。

まず、父の高校生時代のことです。父は倉敷工業高校電気科卒業である太い指で今でも、電気関係の配線や細かい作業が得意です。父のことを皆さんからお聞きすると口をそろえたように「やんちゃ」というワードが出ます。去年、亡くなつた祖父も「竜ちゃんは高校の時はやんちゃしどつたんや！」とよく当時のことを懐かしみながら楽しそうに話していました。具体的に何をしていたのかぜひ聞きたいところですが、皆さんニヤーと笑うばかりで教えてくれません。非常に残念です。

そのやんちゃで破天荒だつた父が

倉敷市議会議員選挙に立候補しようと、決心したきっかけはなんだつたのか。父は、平成21年に倉敷市議会議員に初当選しました。当時44歳です。その時、祖父は自身の市議会議員の集大成として、もう1期と、考えていたそうですが、祖母が「余力があるうちに竜ちゃんに譲つてください」と、言つたそうですね。それ以来、祖父は父のブレーンとなり、地元のためにという魂は、父竜二に受け継がれています。